

令和8年度施政方針

共に輝く未来を目指して

市政運営を担い3年目となる令和8年度は、まちづくりの基本となる最上位計画「第3次御前崎市総合計画」がスタートし、御前崎市の将来を左右する大切な1年となります。

基本理念である「挑戦」と「共創」のもと「安心と希望を未来へつなぐ」と自然が共生するまち「御前崎」を将来都市像に掲げ、市民の皆さまや企業と力を合わせて、総合計画を力強く進めてまいりたいと思います。

わが国では、少子高齢化や人口減少、東京一極集中、物価高騰など社会を取り巻く環境は常に変化しています。また、デジタル化の進展や自然災害の激甚化など、地域社会が直面する課題はますます多様化・複雑化しています。時代の変化に的確に対応するため、市民の皆さまの声を丁寧に取り止め、知恵やアイデアを取り入れながら、地域の力を結集した「共に輝く御前崎市」を築くことを信念に未来志向の市政運営に努めてまいります。

7つの基本目標

本市を取り巻く社会状況を踏まえ

つつ、将来都市像実現のため、7つの基本目標に基づき、市政運営の基本方針を定めました。

①安心して安全に暮らせる強靱なまち
激甚化する自然災害に備え、防災体制を強化します。高潮ハザードマップの整備や災害対策備蓄品の充実、資機材搬送車の導入、救急車両の更新を実施し、市民の安全・安心の確保に努めます。

②人と自然を思いやるまち
脱炭素社会の実現と自然環境の保全を目指し、ブルーカーボン創生事業や環境教育、GX関連事業を進めます。また、海岸防風林の保全や上水道・下水道施設の計画的な更新、適切な維持管理により、安定した水環境の確保に努めます。

③地域特性を活かし心豊かに暮らせる持続可能なまち
道路や河川などの整備・維持管理を計画的に進め、安全で快適な生活基盤の確保に努めます。また、リノベーションまちづくり計画の推進や空き家対策の強化、AIオンデマンド

交通の実証運行を市内全域への拡大などにより、暮らしやすいまちづくりを進めます。

④共に支え合う健康と福祉のまち
障がい者や生活困窮者への支援体制を強化するとともに、高齢者の介護予防や社会参加の促進に取り組みます。また、5歳児健診の実施や運動習慣の促進などにより、市民の健康づくりと子どもの健やかな成長を支援します。

⑤地域資源を生かした活力ある産業と交流で賑わうまち
地域産業の強みを生かし、物価高騰対策や観光振興、一次産業支援、御前崎ブランドの活用などにより、市内経済の活性化と賑わいの創出を図ります。

⑥郷土を愛し世界に通じる人を育むまち
英語教育の充実やICT活用など教育環境の向上を図るとともに、部活動の地域展開や地元食材を活用した学校給食を推進します。また、生涯学習や図書館機能の充実、学校再編の検討などにより、学びを支える環境づくりを進めます。

⑦多様化する社会に対応できる持続可能なまち
太陽光発電などを活用したエネルギー施策により防災力を強化すると

ともに、行政のデジタル化とDX人材育成を進め、市民サービスの向上を図ります。また、市民協働の推進や移住定住、シティブロモーションの強化により持続可能なまちづくりを進めます。

今後8年間を見据えて

令和8年度から令和15年度までの8年間にわたる「第3次御前崎市総合計画」は、本市の未来を方向づける重要な指針であり、着実かつ力強く推進し、各施策を相互に連携させ、地域の特性を最大限に生かしたまちづくりを進めます。

市民一人ひとりが安心と希望を実感できる社会の実現を目指し、全力で市政運営に取り組んでまいります。

御前崎市長
下村 勝

